

学校評価だより

平成27年10月8日
加治川中学校

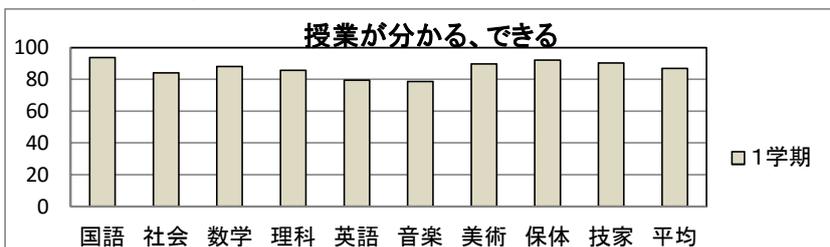
教育目標 「豊かな知性を育て きびしく自己をきたえ 高め合う生徒」

平成27年度1学期の学校評価結果をお知らせします。表面には、生徒アンケートを中心に知徳体に関する評価（肯定的評価の割合）をまとめました。裏面には、保護者アンケート結果を載せました。
課題である「毎日の家庭学習の定着」については、一昨年度65.9%、昨年度76.4%、今年度75.1%とよい状態を維持していることが分かりました。他の項目も総じてよい状態になっていますので、更に向上するよう努力を継続いたします。

生徒アンケート集計結果と今後の取組内容

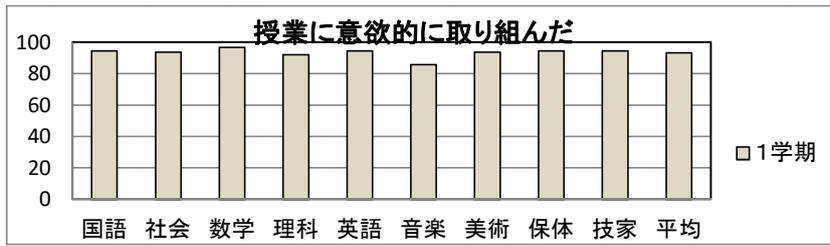
○ 「知」について：全校体制で取り組む学力向上

目標1 授業が分かる、できる喜びを感じる生徒の割合を85%以上にする。



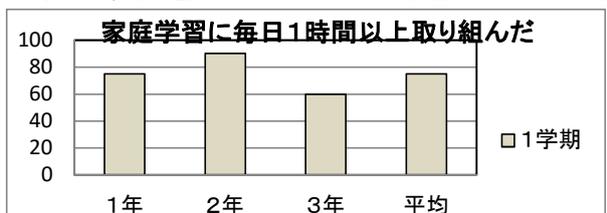
1学期 86.9% [A]
(70%未満はC)
一昨年度81.5%、昨年度86.2%、今年度86.9%と、昨年度と同様により状態を維持していました。

目標2 意欲的に学習に取り組んだ生徒の割合を85%以上にする。



1学期 93.3% [A]
(70%未満はC)
一昨年度85.9%、昨年度93.0%、今年度93.3%と、「わかる、できる」と同様により状態を維持していました。

目標3 家庭学習に毎日、平均1時間以上取り組んでいる生徒の割合を70%以上にする。



1学期 75.1% [A]
(55%未満はC)
家庭学習については、昨年度に全県的な実態を踏まえ設定した目標60%を今年度70%に引き上げましたが、一昨年度65.9%、年度76.4%、今年度75.1%とよい状態を維持していることがわかりました。2年生はとともにより状態であることが分かります。

目標4 すべての学年で、3教科のwebテストを県平均以上にする。

A: 上回った教科が、80%以上 ※9月までの累積した○の数の比率で計算
C: 上回った教科が、50%未満

1学期 90.9% [A]

| 2015年度 | web評価 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------|--------|----|----|----|----|----|
| 国 | 1年 県比較 | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| 数 | 1年 県比較 | ○ | × | × | | × |
| 英 | 1年 県比較 | - | - | - | | ○ |
| 国 | 2年 県比較 | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| 数 | 2年 県比較 | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| 英 | 2年 県比較 | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| 国 | 3年 県比較 | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| 数 | 3年 県比較 | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| 英 | 3年 県比較 | ○ | ○ | ○ | | ○ |

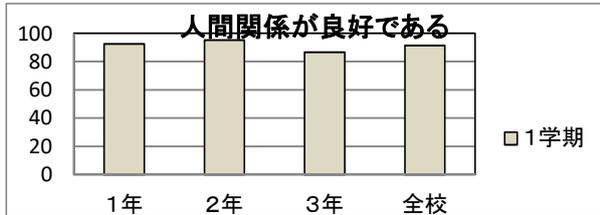
9月までの結果が、一昨年度42.4%、昨年度63.6%、今年度90.9%と、大幅に向上しました。これは大変すばらしいことです。

○：県平均を上回った
×：県平均を下回った
※1年生は、1学期、英語webテスト実施なし

- 今後の取組
- ① 自学ノートの点検活動を継続し、各教科から十分な量の宿題が出せるよう努力を継続します。
 - ② 授業のUDL化、係活動を活用したチャイム学習と学習3原則の授業評価を継続し、見通しが持てる授業の工夫や学習規律の徹底に努力します。また、web配信テストの過去問題とサポート問題を活用した、学び直しの機会を継続して充実させます。
 - ③ 小学校と連携して家庭学習強調週間を継続します。

○「徳」について：豊かな心の育成といじめ・不登校の減少

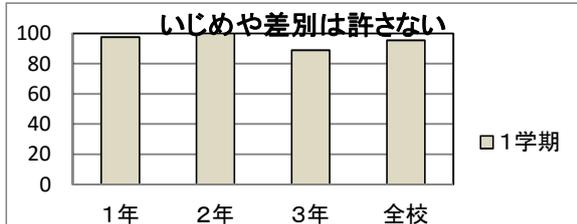
目標1 学校生活が楽しいと感じる生徒を90%以上にする。



1学期 91.4% [A]
(7.5%未満はC)

一昨年度88.5%、昨年度93.0%に対して、今年度は91.4%と、昨年度よりややポイントが下がったもののA評価を維持しています。目標2のいじめを許さない項目とほぼ同じ傾向を見せしていました。

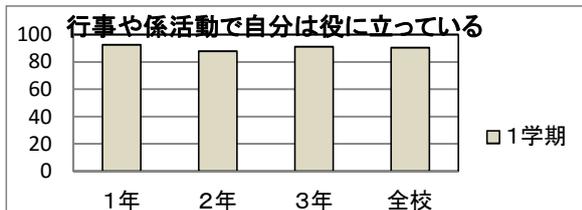
目標2 いじめや差別を許さない生徒を100%にする。



1学期 95.5% [B]
(8.0%未満はC)

一昨年度95.2%、昨年度97.8%に対して、今年度は95.5%と昨年度よりややポイントが下がったもののよい状態を維持しています。2年生は一年生時に引き続き100%でした。

目標3 学級の活動や生徒会の活動や行事で、自分が役に立っていることを実感し、前向きに活動する生徒を70%以上にする。



1学期 90.5% [A]
(6.5%未満はC)

一昨年度80.5%、昨年度83.8%、今年度90.5%と着実に向上しています。学級活動活性化のための様々な取組が功を奏していると考えられます。

今後の取組

- ① 学級活動優先日による学級活動活性化のための取組を継続します。また、生徒の主体的な行事参加を支援し、専門委員会の自主的な活動の活性化に引き続き取り組みます。
- ② きちんと声を出してあいさつができるよう場面場面で指導します。また、PTAの方々や小学校と連携してあいさつ運動に引き続き取り組みます。
- ③ Q U検査を実施し、学級集団の理解に努め、個々の生徒へのよりよい対応を探る努力をします。
- ④ 同和教育・人権教育、構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングをより充実できるよう取り組んでいきます。

○「体」について：体力づくりの実践と生活習慣の改善

目標1 体力テストの結果、県平均以上になる項目を60%以上にする。(48項目中29項目以上)

| 項目 | 男子 【県平均との比較】 | | | | | | | | 女子 【県平均との比較】 | | | | | | | |
|-------|--------------|----|----|----|------|-----|----|-----|--------------|----|----|----|------|-----|----|-----|
| | 握力 | 上体 | 長座 | 反復 | シャット | 50m | 立幅 | ハンド | 握力 | 上体 | 長座 | 反復 | シャット | 50m | 立幅 | ハンド |
| 1年県比較 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × |
| 2年県比較 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | × | × |
| 3年県比較 | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | × | ○ |

今年度の県平均以上になった項目の割合は70.8%でした。昨年度は60.4%でしたので、向上が見られました。特に、男子は24項目中20項目が県平均を超えており83.3%でした。女子は24項目中14項目が県平均を超え、58.3%となり、昨年度と同様、女子の体力低下が著しい点が目立っていました。

1学期 70.8% [A]
(4.6%未満はC)
(2.2項目以下はC)

参考

| 時間 | 割合 (%) |
|-------|--------|
| 1時間程度 | 9.4 |
| 2時間程度 | 16.5 |
| 3時間程度 | 28.3 |
| 4時間程度 | 32.3 |
| 4時間程度 | 8.7 |
| 5時間以上 | 4.7 |

| 時刻 | 割合 (%) |
|---------|--------|
| 10:00まで | 18.1 |
| 10:30まで | 18.9 |
| 11:00まで | 23.6 |
| 11:30まで | 20.5 |
| 12:00まで | 13.4 |
| 12:00以降 | 5.5 |

今後の取組

- ① 体育の授業に、柔軟性や筋持久力を高める運動を積極的に取り入れる。体力ベスト3、県平均、校内平均を掲示し体力向上への意欲を高めていきます。
また、部活ごとの体力テストの結果を分析しトレーニングに反映させます。
- ② 生活アンケートや小中連携で行っているメディアコントロールチェックを継続し、その結果をもとに、就寝直前までメディアに接することが良質な睡眠を悪くしていること等を積極的に伝えていきます。
ご家庭でも、生活リズムを点検していただくなどご理解、ご協力をお願いいたします。